

2015年度日本語教育学会春季大会

主催：公益社団法人日本語教育学会／共催：武蔵野大学

開催日：2015年5月30日(土)，31日(日)／会場：武蔵野大学有明キャンパス

予稿集代：会員＝4,000円 一般＝5,000円／懇親会費：3,000円

参加申込：大会当日受付でお申し出ください／連絡先：090-1999-3315(当日のみ)

■■■お知らせ■■■

参加の際には予稿集の購入が必要となります。また、会員の方は会員証を必ずご持参ください。

【第1日】5月30日(土) 1号館-3号館

定時代議員総会	1号館 1-307 教室	9:30～11:30
開会式	3号館 3-301・302 教室	12:45～13:00
	開催校挨拶 中村 孝文氏 (武蔵野大学副学長)	
	会長挨拶 伊東 祐郎 (日本語教育学会会長)	
	司会 庵 功雄 (大会委員長)	
授賞式	同上	13:00～13:20
公益社団法人日本語教育学会の新たな理念体系(中間報告)	同上	13:20～13:25
パネルセッション	1号館 1-306, 1-406, 3号館 3-301・302 教室	13:40～18:00
懇親会(詳細はp.6参照)	3号館 ロハスカフェ ARIAKE	18:20～20:00

【パネルセッション】

《第1会場》3号館 3階 3-301・302 教室

- ① 13:40～15:40 **わかりにくい介護用語の言い換えの試み**
三枝令子(一橋大学)，田中牧郎(明治大学)，片山ます江(伸こう福祉会)，
遠藤織枝(元文教大学)，川村よし子(東京国際大学)
- ② 16:00～18:00 **日本語教育における「対話」と対話原理**
西口光一(大阪大学)，蔭山拓(関西学院大学)，木村哲也(帝京大学)

《第2会場》1号館 3階 1-306 教室

- ③ 13:40～15:40 **日本語教室に表れる「想像の共同体」は、どのように再構築していくことができるのか—三つの実践に見えた可能性—**
山本冴里(山口大学)，新井久容(早稲田大学)，有田佳代子(敬和学園大学)，
南浦涼介(山口大学)
- ④ 16:00～18:00 **学びの場としての「実践の共有」には何が必要か**
—音声教育における実践をもとに考える—
河野俊之(横浜国立大学)，齋藤ひろみ(東京学芸大学)，
横溝紳一郎(西南女学院大学)

《第3会場》1号館 4階 1-406 教室

- ⑤ 13:40～15:40 **外国につながる子どもたちのプレスクールの実践と課題**
—地域の特性を踏まえた取り組み—
川崎直子(愛知産業大学短期大学)，松本一子(愛知淑徳大学)，
伊東浄江(トルシーダ)，長坂香織(山梨県立大学)
- ⑥ 16:00～18:00 **外国人受刑者の矯正処遇の課題**
—刑事施設に収容されるF指標受刑者への日本語指導の意義—
宮崎里司(早稲田大学)，谷澤正次(府中刑務所)，
吉村幸司(国連アジア極東犯罪防止研修所)

【第2日】 5月31日(日) 1号館・3号館

口頭発表	1号館 1-306, 1-406, 3号館 3-301, 3-302 教室	9:50~15:30
ポスター発表	1号館 1-401, 1-402, 1-405 教室	9:20~16:20
デモンストレーション発表	1号館 1-301, 1-302, 1-305 教室	9:20~16:20

【2日目:同時開催のイベント】

調査研究推進セミナー (詳細は p.6 参照)	1号館 1-406 教室	12:00~13:20
-------------------------	--------------	-------------

【口頭発表】

《第1会場》3号館 3階 3-301 教室

- ① 9:50~10:20 **大学院ゼミの質疑応答活動への参加の熟達とは**
—あるゼミ新参者への縦断的研究から見えてきたもの—
黄均鈞(一橋大学大学院生)
- ② 10:35~11:05 **日本人・タイ人ビジネスパーソン of 断りメールにおけるラポールマネジメント**
ワラシー・クンランパー(大阪大学大学院生)
- ③ 11:20~11:50 **教室活動の話し合いにおける「話題」の Appropriation**
—学習者の「場」で形成された話題とテーマの分析を通して—
寅丸真澄(東京外国語大学)
- ④ 13:30~14:00 **外国につながる子どもたちへの修学支援経験により形成される教員志望
学生の認識**
原瑞穂(上越教育大学), 大野恵理(同)
- ⑤ 14:15~14:45 **年少者日本語教育のための理科語彙表作成における語彙整理の観点の
比較**
田中裕祐(筑波大学), 甲斐晶子(桜美林大学), 関裕子(筑波大学)
- ⑥ 15:00~15:30 **継承日本語学習者のプレライティング・ストラテジー**
—英語圏在住小・中学生のバイリンガル作文調査を踏まえて—
中島和子(カナダ・トロント大学), 佐野愛子(北海道文教大学)

《第1会場》3号館 3階 3-302 教室

- ⑦ 9:50~10:20 **21世紀の人材育成をめざす ASEAN5 各国の中等教育における日本語教育**
—教育政策資料の比較分析から—
古川嘉子(国際交流基金), 中野佳代子(同), 尾関史(同), 大船ちさと(同)
- ⑧ 10:35~11:05 **日本語教育における母語話者と非母語話者間の「序列化」に関する一考察**
—日本国内の非母語話者教師に焦点を当てる—
孫雪嬌(早稲田大学大学院生)
- ⑨ 11:20~11:50 **EPA 介護福祉士候補者に対する介護専門家と日本語教師とのチーム
ティーチング—CBI モデルに基づいた授業実践報告からの提案—**
神村初美(首都大学東京), 小平めぐみ(国際医療福祉大学)
- ⑩ 13:30~14:00 **複数言語環境における言語生活の中で、生徒は学校で学ぶ日本語をどう
捉えているか—フィリピン中等教育機関向け教材『enTree』における「My
Language Biography」とポートフォリオ分析から—**
松井孝浩(国際交流基金)
- ⑪ 14:15~14:45 **実践コミュニティで日本語学習者はどのように学んでいるのか**
—「なりたい自分」と「今の自分」との相互作用—
島崎薫(東北大学)
- ⑫ 15:00~15:30 **生涯学習／教育の視点に基づく日本語学習ポートフォリオ作成活動**
山内薫(早稲田大学大学院生)

《第3会場》1号館 3階 1-306 教室

- ⑬ 9:50～10:20 この発表は、発表者の都合により取り下げとなりました。
- ⑭ 10:35～11:05 **中国人日本語学習者による動詞由来の複合名詞の理解**
張婧禕(名古屋大学大学院生), 早川杏子(名古屋大学), 玉岡賀津雄(同)
- ⑮ 11:20～11:50 **中国語話者の「させる」構文の使用傾向**
—LARP at SCU コーパスの分析から—
胡君平(大阪府立大学大学院生)
- ⑯ 13:30～14:00 **原因・理由を表す接続辞「ものだから／もので」の意味**
—原因・理由の事態に現れる語と対象事態の確定性の制限から—
松下光宏(大阪府立大学大学院生)
- ⑰ 14:15～14:45 **中国語母語話者における動詞変化構文の使用状況**
—母語の感覚に配慮した文法記述のために—
植松容子(昭和女子大学)
- ⑱ 15:00～15:30 **程度を表すホドとクライの違いについて**
—名詞性に関する考察と提案—
川崎一喜(立命館大学)

《第4会場》1号館 4階 1-406 教室

- ⑲ 9:50～10:20 **初級学習者向けオンライン日本語コースの実践と課題**
—受講生へのインタビュー調査結果の分析から—
宮崎七湖(新潟県立大学), 萩原章子(国際基督教大学),
木下直子(早稲田大学), 伊藤奈津美(同), 尹智鉉(同)
- ⑳ 10:35～11:05 **発話内容に相応しい音声に関する一考察**
高村めぐみ(関西学院大学)
- ㉑ 11:20～11:50 **台湾の日本語学習者の習得からみた促音・長音生成における時間構造の
共通性**
洪心怡(台湾・国立高雄第一科技大学)

【ポスター発表】

《第1会場》1号館 4階 1-401 教室

- 9:20～11:20
- ① **漢字学習ウェブサイト「介護の漢字サポーター」及びそこで扱う語について**
中川健司(横浜国立大学), 角南北斗(武庫川女子大学),
齊藤真美(カナダ・アルバータ州教育省), 布尾勝一郎(佐賀大学), 橋本洋輔(国際教養大学)
- ② **JF 日本語教育スタンダード準拠ロールプレイトスト C1 レベルの開発**
関崎友愛(国際交流基金), 松井孝浩(同), 長坂水晶(同)
- ③ **BJ-CAT ビジネス日本語テスト**
—能力推定による能力判定—
赤木彌生(山口大学), 今井新悟(筑波大学), 伊東祐郎(東京外国語大学),
堀井恵子(武蔵野大学), 中園博美(島根大学), 本田明子(立命館アジア太平洋大学),
小野塚若菜(東京富士大学)
- 11:50～13:50
- ④ **ビジターセッションにおける協力者の意識調査**
西村久美子(A.C.C. 国際交流学園), 伊藤聖子(お茶の水女子大学大学院生)

- ⑤ **新聞を使った NIE 授業における実践教師の関わり方**
—学習者・学習内容・教材に対する方向性について—
宮弘美(東京国際大学付属日本語学校), 福島育子(同)

●14:20~16:20

- ⑥ **交換留学制度を利用した長期日本語教育実習の実践と成果**
池田庸子(茨城大学), 八若壽美子(同)
- ⑦ **海外日本語教育実習生の実践コミュニティへの参加と意識の変容について**
三枝優子(文教大学)

《第2会場》1号館 4階 1-402 教室

●9:20~11:20

- ⑧ **インクルーシブ教育のための日本語教員用ハンドブック作成への試案**
—一点字を使用する日本語学習者への学習支援—
藤田恵(立教大学), 河住有希子(日本工業大学), 秋元美晴(恵泉女学園大学),
浅野有里(日本国際教育支援協会)
- ⑨ **生徒の複数言語性に着目した実践の意義**
—学校教育における日本語教育カリキュラムの構築に向けて—
金丸巧(関東国際高等学校), 秋田美帆(同)

●11:50~13:50

- ⑩ **成人学習論に基づくラウンドテーブル型教師研修における運営者の学び**
—運営者の長期的省察を通して—
池田広子(目白大学), 宇津木奈美子(帝京大学), 朱桂荣(中国・北京外国語大学),
半原芳子(福井大学)
- ⑪ **日本語学校における新人日本語教師へのメンタリングの意味**
—ナラティブ的探究による教師アイデンティティの考察より—
江森悦子(元早稲田大学大学院生)

●14:20~16:20

- ⑫ **オーストラリアの大学における日本語学習者のモチベーションとL2セルフ**
倉田尚美(豪州・モナシュ大学)
- ⑬ **経済学を学ぶためのレディネスに関する基礎的研究**
—学部1年生の日本人学生と留学生を比較して—
重田美咲(下関市立大学)

《第3会場》1号館 4階 1-405 教室

●9:20~11:20

- ⑭ **中国語を母語とする中級日本語学習者は文章の聴解時にどう聴いているか**
—学習者の作動記憶容量を操作した実験的検討—
費曉東(広島大学)
- ⑮ **初級以降の総合日本語クラスにおける音声指導について**
—音声教育補助教材の作成・実践とアンケート調査の結果から—
田川恭識(早稲田大学), 野口英美(同)

●11:50~13:50

- ⑯ **中級中国人日本語学習者の聴解における作動記憶容量と音韻符号化速度の影響**
韓曉(広島大学大学院生), 当銘盛之(同), 柳本大地(同), 費曉東(広島大学)

⑰ **漢字圏学習者における日本語の漢語の読みの学習プロセス**

—読みが「h/p/b」となるケースの協働学習の観察から—
渡部みなほ(東京大学), 藤田朋世(同), 増田真理子(同), 前原かおる(同)

●14:20~16:20

⑱ **中国人学習者の日本語作文はどう評価されるか**

—日本語母語話者と中国語母語話者の評価の比較—
方正(広島大学大学院生)

⑲ **中国語を母語とする上級日本語学習者のパソコンによる作文過程**

—手書きによる作文過程との比較から—
石毛順子(国際教養大学)

⑳ **ライティング評価における「興味深さ」の観点の共有活動とリライト効果**

—学習者によるリライト手法の能動的な選択を観察して—
宇野聖子(武蔵野大学), 藤浦五月(同)

【デモンストレーション発表】

《第1会場》1号館 3階 1-301 教室

- ① 9:20~11:20 **学習語彙習得を目指す「英訳付日本語学習支援アプリ」の開発**
樋口万喜子(横浜国立大学), 細野尚子(鎌倉市立大船小学校)
- ② 11:50~13:50 **ビデオ教材「東京の言語景観—現在・未来—」の制作と公開**
磯野英治(大阪大学), 西郡仁朗(首都大学東京)
- ③ 14:20~16:20 **オンライン音声学習支援コンテンツの開発**
—試作版「診断テスト」の検討—
木下直子(早稲田大学), 田川恭識(同), 角南北斗(武庫川女子大学)

《第2会場》1号館 3階 1-302 教室

- ④ 9:20~11:20 **マルチメディア支援 WEB 教材「きらきらオノマトペ」の制作と利用法**
西郡仁朗(首都大学東京)
- ⑤ 11:50~13:50 **デジタルゲーム—GPS・位置ゲーム開発環境『ARIS』の実用性と実践例**
畑佐一味(米国・パデュー大学)
- ⑥ 14:20~16:20 **「言秤」による日本語運用能力の自動測定**
—日本語学習者の書き言葉と話し言葉との差異を定量的に示す試み—
久保圭(大阪大学), 宮部真衣(京都大学), 四方朱子(同), 荒牧英治(同),
李在鎬(筑波大学)

《第3会場》1号館 3階 1-305 教室

- ⑦ 9:20~11:20 **ユニバーサルデザインの学習環境を実現する音声付教科書の開発**
大澤彰子(テストのユニバーサルデザイン研究所)
- ⑧ 11:50~13:50 **リズム導入のための視聴覚教材の開発**
吉田千寿子(岐阜聖徳学園大学)

【5月31日：調査研究推進セミナー】

「研究倫理規程を知ろう！～ “不適切な行為” をさけるために～」

《会場》1号館 4階 1-406教室 12:00～13:20

公益社団法人日本語教育学会 調査研究推進委員会

※事前申込不要。直接会場へお越しください。

定員：100名 参加費：無料

参加条件：春季大会参加費を支払っていること。

懇親会のご案内 **Linking Thinking Bar**

5月30日（土）の懇親会は次のように開催いたします。

会場：ロハスカフェ ARIAKE （武蔵野大学有明キャンパス内）

<http://www.lohascafe-ariake.net/>

時間：18:20～20:00

会費：3,000円（お飲み物と軽食をご用意いたします）

申込：当日の大会受付にて（先着80名様）



会場の『ロハスカフェ ARIAKE』は、大学内にオープンした身体にやさしく、おいしく自然をいただくファストカジュアルなおしゃれなカフェです。



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY

武蔵野大学のブランドステートメントは、「Linking Thinking」（リンクングシンキング）ですので、懇親会では、リラックスした雰囲気の中、参加者全員で行うコミュニケーション・ツールを使ったアクティビティを取り入れ、初めて会ったり、話をしたことのない会員同士も楽しく交流を深められる時間を過ごしていただけるよう企画をしています。奮ってご参加ください。

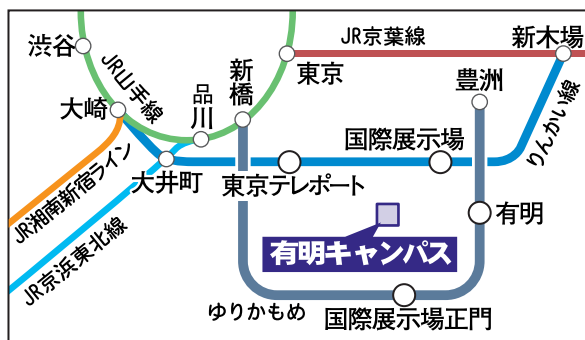
●その他：

- ・ アクティビティを伴うため、貴重品以外は懇親会会場のクロークに荷物をお預けください。
- ・ 懇親会の様子は写真撮影を行い、懇親会内で使わせていただく可能性があります。また、後日、日本語教育学会、武蔵野大学のWebサイト等の広報手段に許諾なく用いられる場合があります。参加に際しては、上記をご了承いただける方に限ります。

武蔵野大学 実行委員一同

会場への交通案内——武蔵野大学有明キャンパス

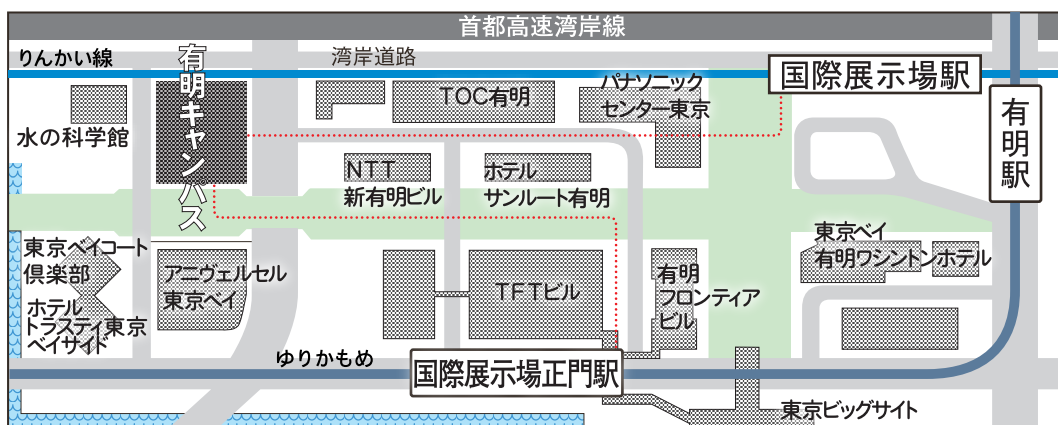
りんかい線
国際展示場駅 徒歩7分
東京テレポート駅 徒歩12分
ゆりかもめ
国際展示場正門駅 徒歩6分
有明駅 徒歩7分



所在地：
東京都江東区
有明三丁目3番3号



駅からの詳しいアクセスは、
動画でもご覧いただけます。



◆最寄駅・バス停留所

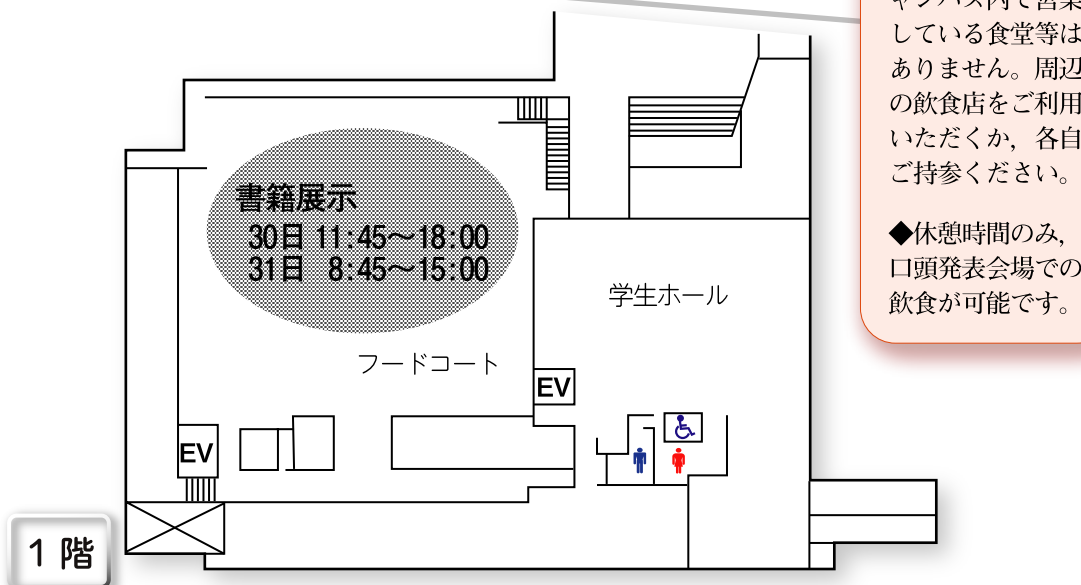
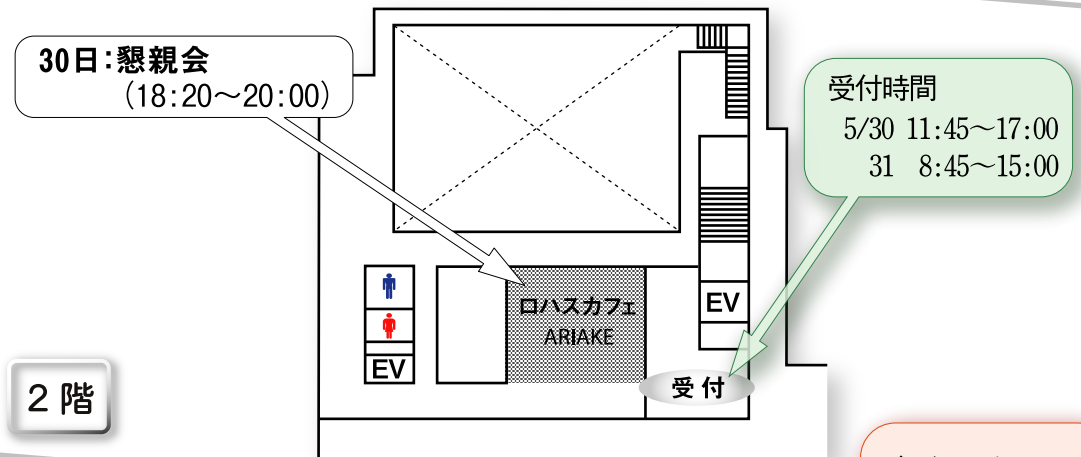
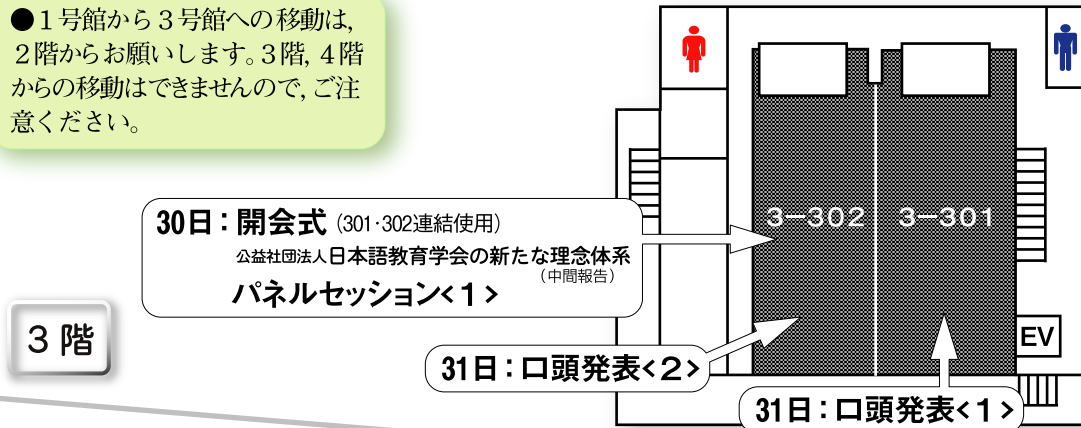
- ◇りんかい線：
「国際展示場駅」徒歩7分、
または「東京テレポート駅」徒歩12分
- ◇ゆりかもめ：
「国際展示場正門駅」徒歩7分、
または「有明駅」徒歩7分
- ◇都バス：
東京駅または豊洲駅等から
《東16》《都05》系統
(東京ビックサイト行き)
「武蔵野大学」下車すぐ

◆タクシー会社

- ◇日本交通 (株) 03-5755-2151
- ◇帝都自動車交通 (株) 03-3643-6881
- ◇大和自動車交通 (株) 03-3563-5151

会場平面図 — 武蔵野大学 有明キャンパス 3号館

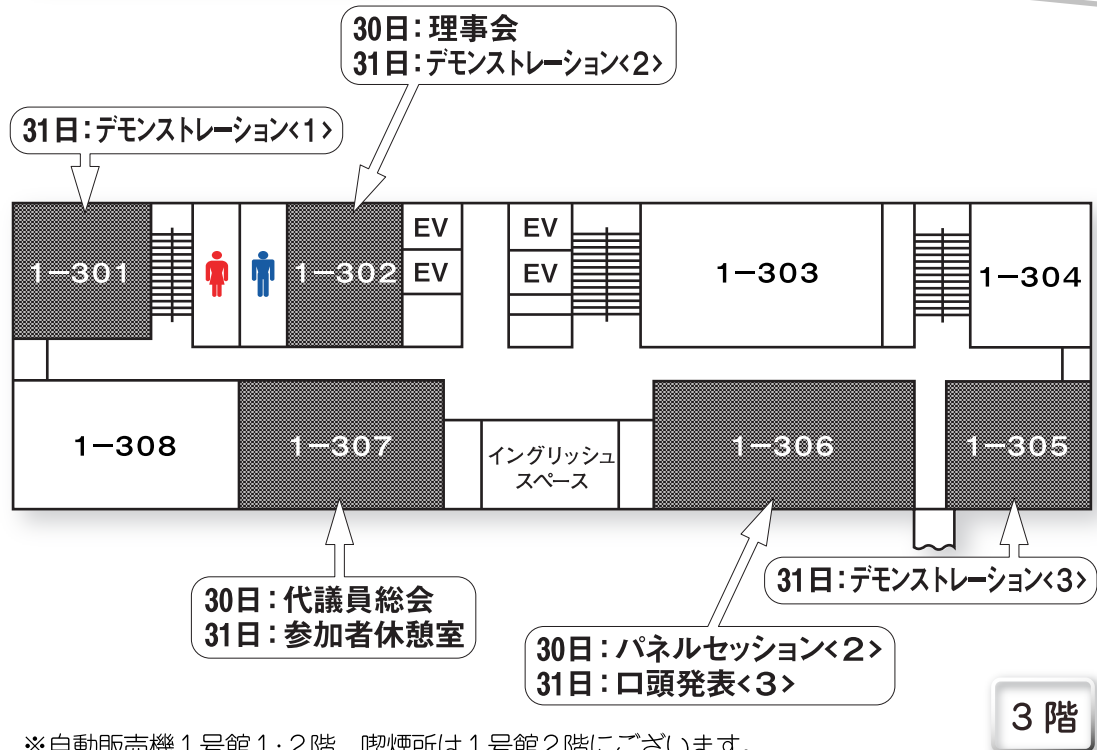
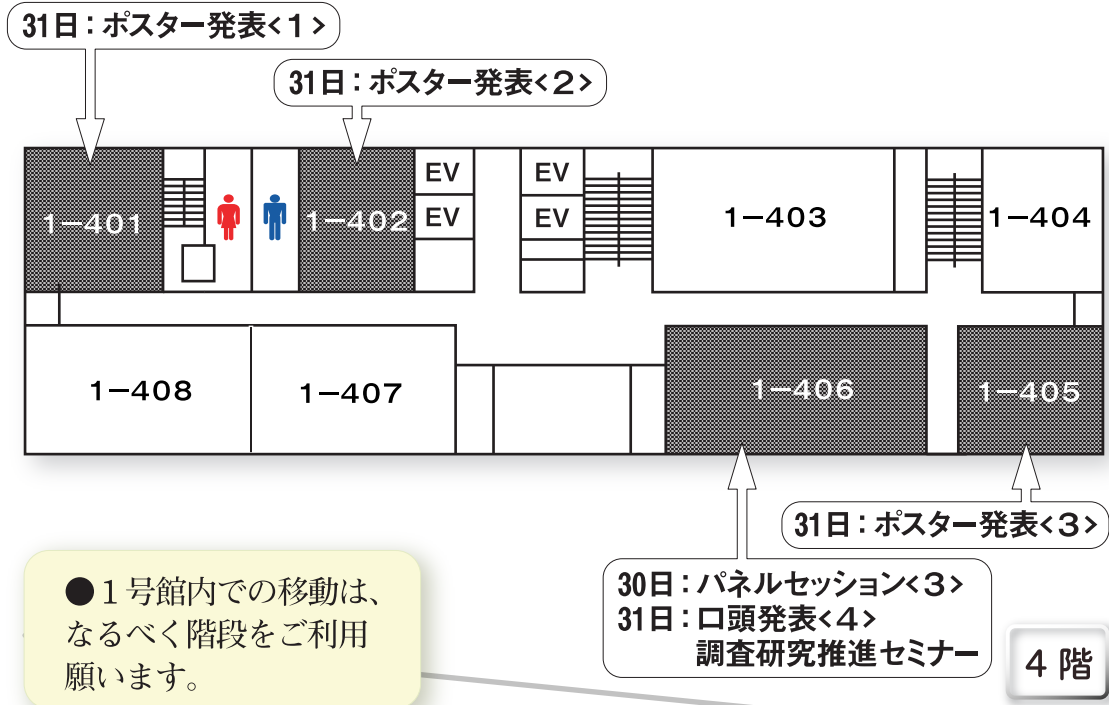
● 1号館から3号館への移動は、2階からお願いします。3階、4階からの移動はできませんので、ご注意ください。



◆両日ともに、キャンパス内で営業している食堂等はありません。周辺の飲食店をご利用いただくか、各自ご持参ください。

◆休憩時間のみ、口頭発表会場での飲食が可能です。

会場平面図 — 武蔵野大学 有明キャンパス 1号館



※自動販売機 1号館1・2階，喫煙所は1号館2階にございます。
3号館1階のフードコートも参加者休憩室としてご利用いただけます。